

松下幸之助経営塾

[第一期] 2011年2月開講

特別講師

※肩書きは、掲載当時のものです



佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) 株式会社WOWOW 相談役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2002年より、同社代表取締役会長(兼)社長を務め、03年6月より、会長専任。06年6月より、現職。



中野 健二郎 (なかの・けんじろう) 京阪神不動産株式会社 代表取締役社長 株式会社日本総合研究所 シニアフェロー

1947年、熊本県生まれ。71年、九州大学経済学部を卒業後、株式会社住友銀行(現・株式会社三井住友銀行)に入行。98年、同行取締役・証券部長。常務、専務、副頭取を経て、2008年、同行代表取締役副会長。10年より、現職。08年5月から10年5月まで、関西経済同友会代表幹事。三井住友銀行に在籍中、「担当者」から「次長」、「部長」、「常務」、「副頭取」と肩書きは変わったが、松下幸之助存命中から約30年間に亘り、松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)を担当し、その歴史を外部から見てきた。



山田 昭男 (やまだ・あきお) 未来工業株式会社 取締役相談役

1931年、上海生まれ。48年、大垣中学校(旧制)を卒業後、父・山田一彦氏が設立した有限会社山田電線製造所に入社、専務取締役に就任。65年、未来工業株式会社を設立、代表取締役社長に就任。91年、未来工業株式会社を名古屋証券取引所市場第二部に上場。2000年より、現職。この間、岐阜県中小企業家同友会代表理事、同会会長、(社)岐阜県電機工業会会長、(社)発明協会岐阜県支部大垣支会会長を歴任、地元産業界に大きな影響を与える。年末年始休暇は19連休、残業はゼロなどの条件にもかかわらず経常利益率が常に15%以上という業績を保持し続けている。独創的な発想と効率経営を学ぼうと、国内外からの見学希望が引きも切らない。89年4月に黄綬褒章、99年に大垣市功労賞、2001年に勲五等双光旭日章を受賞。著書に『楽しんで儲ける!』(2004年、中経出版)、『ドケチ道』(2010年、東洋経済新聞社)。



小嶋 淳司 (こじま・あつし) がんこフードサービス株式会社 代表取締役会長

1935年、和歌山県生まれ。同志社大学経済学部卒業後、大阪榮寿司店にて1年間見習修行。63年、大阪十三にて4坪半の寿司店を創業。2年後に120席の大型寿司店を開店(現在の十三寿司店)。69年、法人設立。2005年より、現職。がんこフードサービス株式会社は現在、関西圏、関東圏を中心に、寿司、和食、揚げた料理、とんかつ、回転寿司、自家製がんこ豆腐直売店等の直営店95店舗を展開中。また江戸時代より続く庄屋と庭園を生かした平野の『平野郷屋敷』や、京都高瀬川を開削した京の豪商「角倉了以」の別邸跡で高瀬川源流の『高瀬川二条苑』など、貴重な文化的遺産を生かした和食店を展開し話題となる。(社)関西経済同友会代表幹事、(社)関西経済連合会理事、(社)日本フードサービス協会会長、大阪商工会議所副会頭(在任中)などを務め、関西経済界の重鎮として知られる。著書に『儲かってまっか! がんこ流人育て心得帖』(1995年・日経BP社)。



樋口 武男 (ひぐち・たけお) 大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 兼 CEO

社団法人 住宅生産団体連合会会長

大阪商工会議所副会頭

一般財団法人 大阪シンフォニカー協会理事長

1938年、兵庫県生まれ。61年、関西学院大学法学部卒業。93年6月、大和ハウス工業専務からグループ会社社長に就任、赤字であった同社の再建に当たる。積極経営により2年で黒字化、7年で復配に導く。2001年4月、合併により大和ハウス工業社長に就任後、数々の改革を打ち出す。03年3月期の創業以来の赤字決算から翌年にはV字回復を果たし、06年3月期には業界トップの座に導く。現在、「100周年に10兆円企業群」に向け、「ふ・か・け・つ・の」をキーワードに、福祉・環境・健康・通信・農業などの分野に新たな事業展開を目指している。

著書に『熱湯経営～「大組織病」に勝つ』(2007年・文藝春秋)、『先の先を読み～複眼経営者「石橋信夫」という生き方』(2010年・文藝春秋)



岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルピン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。1961年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね～松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。

